

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成27年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立秩父特別支援学校		Aグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	特別支援教育の趣旨や特性を踏まえ、目指す学校像が設定されている。秩父地域唯一の県立特別支援学校として寄せられる期待に十分応えられるように、学校内外の環境分析などを踏まえ、地域との絆の強さなど学校の特色や強みを生かしたものとなるよう更に工夫していただきたい。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	目指す学校像を踏まえ、学校の取り組むべき方向が三つの柱として設定されている。やや網羅的な目標となっており、長らく見直しが行われていないことから、中期的な視点に立ち、課題の解決に向けて、更に具体的で重点化した内容にすることが望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	評価運営委員会を中心に中間評価を組織的に実施し、教職員の共通理解の下、分掌・学部等が連携しながら、目標達成を目指す体制が整えられ、地域に根差した様々な特色ある取組が実施されている。評価項目が、年度達成目標としては分かりにくいので、更に明確かつ重点化された目標となるよう工夫していただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	学校評価懇話会の意見や年度評価を積極的に生かし、次年度の組織的・計画的な具体的方策が策定され、「地域教育支援専門家チーム」の活躍の幅が広がるなど成果が上がってきている。方策の評価指標が抽象的であるので、評価項目の達成度を決定する上で、より判断しやすく、教職員間で達成イメージを共有できるような分かりやすい指標を設定することが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	学校自己評価と人事評価の日程を調整することで目標の連鎖を徹底し、チームとしての取組の中で大切にすべきことを教職員間で共有化するなど、教職員一人一人の能力を生かしながら学校全体の組織力を高めようとしている校長の意欲が感じられる。校長の的確なリーダーシップの下、学校グランドデザインの共通理解が図られ、組織的・計画的に教育活動に取り組んでおり、優れた取組となっている。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	幼小中高86施設に対するアンケートの実施や保護者向けの「意見箱」の設置等、地域・保護者から幅広く学校自己評価のための情報が収集されており、意見に対して適切に保護者等へフィードバックがなされている。各種アンケートや学校関係者の意見などを共有し、評価・反省に生かして、次年度の課題・解決策として継続的に積み重ねて取り組んでおり、優れている。	
特記事項			